

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	保健体育	科 目	保 健	学 年	2	学 科	普通科
単位数	1	教科書	現代高等保健体育改訂版			出版社	大修館書店
副教材	現代高等保健体育ノート						

学習の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康管理を考え、改善していくための資質や能力を身に付けます。 思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学ぶとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたについて学びます。
授業の概要	教科書「現代高等保健体育（大修館）」の内容を中心に授業を行います。 アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、視聴覚機器の活用や調べ学習など主体的な学習を行うことで、内容を理解し、知識を深めます。 健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を育てます。

	期	単 元	教 材	学 習 内 容	評価の観点				
					①	②	③	④	
年 間 学 習 計 画	1 学期	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み	・思春期における心身の変化、及び健康課題について理解する。 ・性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解する。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な知識を身に付ける。 ・妊娠・出産の過程における健康課題について理解する。 ・家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解する。 ・加齢にともなう心身の変化を理解する。 ・高齢者の健康課題とその社会的な支援、すべての人が健康で安全に暮らすための社会的取り組みについて理解する。	○	○		◎	
	2 学期		保健制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策	・保健行政の役割や保健サービスについて理解する。 ・医療制度と医療保健のしくみについて理解する。 ・医薬品の種類と正しい使用法について理解する。 ・健康づくりのためのさまざまな活動、民間機関や国際機関などの保健活動について理解する。	○	○		◎	
	3 学期	社会生活と健康	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き	・大気汚染の原因とその健康影響について理解する。 ・水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響について理解する。 ・環境汚染を防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について理解する。 ・ゴミの処理の現状とその課題、上下水道の整備とし尿の処理について理解する。	○	○		◎	
	4 学期		食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保健と私たち 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	・食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について考える。 ・食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について理解する。 ・働くことの意義や健康とのかかわりについて理解する。 ・労働災害を防ぐための安全・健康管理について理解する。 ・職場がおこなう健康増進対策について理解する。	○	○		◎	

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準			
① 関心・意欲・態度	② 思考・判断	③ 運動の技能	④ 知識・理解
個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを的確に表現できる。		個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題解決に必要な基礎的事項を理解している。
評価の方法			
定期考査に加え、提出物（課題、ノート、レポート等）の成績などを総合的に評価します。また、平常の授業態度や発表の姿勢・内容、積極性等も評価の対象になります。			

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	保健体育	科 目	体 育	学 年	2	学 科	普通科
単位数	3	教科書	現代高等保健体育改訂版		出版社	大修館書店	
副教材							

学習の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、自己の能力に応じて自らの力で運動能力を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力の向上を図ります。 運動や健康の科学的な理解の上に立って運動を実践、公正・協力・責任などの社会的態度を育て、生涯を通じて明るく豊かで活力のある生活を営む資質や能力を育てます。
授業の概要	体力の強化を図るとともに積極的に授業に取り組む姿勢を養います。 集団の中の個人であること（意識の統一・やる気の共有）を自覚した行動をとると同時に、体力の向上を図ります。 アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、各種の運動を実践することで、自主的かつ安全に配慮する力を身に付けると同時に、運動の知識を深めます。

	期	単 元	教 材	学 習 内 容	評価の観点				
					①	②	③	④	
年間 学習 計画	1 学 期	集団行動 体づくり運動	集団走 体ほぐし運動 体力を高める運動 新体力テスト	・集団行動の行い方を学び、効率的に行動できるようにする。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図る。 ・自己の体力・運動能力の状態を把握する。	◎	○	○		
		球技	ソフトボール バレーボール テニス	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付ける。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行う。	○	○	◎	○	
		体育理論	スポーツの技術と戦術 技能の上達課程と練習	・技術と技能について考える。 ・戦術・作戦・戦略について考える。 ・技能の上達課程と効果的な練習法について考える。	○	○		◎	
	2 学 期	体づくり運動	体ほぐし運動 体力を高める運動	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図る	◎	○	○		
		球技	サッカー バスケットボール バドミントン	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付ける。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行う。	○	○	◎	○	
		体育理論	効果的な動きのメカニズム 技能と体力	・動きのコントロールについて考える。 ・運動・スポーツにおける技能と体力の関係について考える。	○	○		◎	
	3 学 期	陸上競技	持久走	・持久力の向上を図る。	◎		○		
		球技	サッカー バスケットボール バドミントン	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付ける。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行う。	○	○	◎	○	
		体育理論	体力トレーニング 運動やスポーツでの安全確保	・体力トレーニングの進め方を考える。 ・運動やスポーツを行うときに注意することを考える。	○	○		◎	

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準			
① 関心・意欲・態度	② 思考・判断	③ 運動の技能	④ 知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動する。 公正・協力・責任などの態度を身につけるとともに健康・安全に留意して運動する。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動の合理的な仕方を考え工夫する。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な使い方を身に付ける。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し知識を身に付ける。
評価の方法			
学習に関する関心・意欲や公正・協力・責任などの態度を評価します。 各競技のルールや技術の知識理解や運動能力の習得について評価します。 課題解決への思考・判断や出席状況などを考慮して総合的に判断します。			